

令和2年度 平戸市立大島小学校 学校経営方針

校長 藤瀬 安孝

- 長崎県教育方針
- 平戸市教委学校教育課重点目標
 - ・学力の定着と向上
 - ・ICT機器活用と英語教育の推進
 - ・主体的な読書活動の推進
 - ・不登校対策の推進
 - ・特別支援教育体制の充実

- 本校の教育方針
日本国憲法・教育関係法令の精神に則り、長崎県・平戸市の教育方針をふまえ、地域や児童の実態に即し、生命を大切にし、更に人間性豊かな、心身共に健康でたくましい日本人の育成をめざす。このために全職員が使命感と責任を自覚し、知恵と汗を出し協力して、本校教育の充実発展に努める。

- 保護者・地域の願い
 - ・よく考え自分のことが自分でできる
 - ・思いやりがあり、コミュニケーションがとれる
 - ・元気で素直
 - ・笑顔であいさつができる
 - ・社会に出ても打たれ強いたくましさ
 - ・礼儀正しく、誰に対してもやさしい

◎学校教育目標
「大きな夢をもち、しっかり考え、ま心をもつ子どもの育成」

○めざす学校像

「秩序と活気とやさしさにあふれる学校」
～落ち着いた心で生き生きと活動～

○めざす児童像

- ・みんなと仲よくする正しい子
- ・楽しんで学習する子
- ・元気よくがんばる子

○めざす教師像

- ・情報を共有し、全職員で児童理解に努める教師
- ・子どもの可能性を信じ、学力向上に努める教師
- ・学校教育力につながる、個人研鑽に努める教師

○知識・技能を高めるために

- ・意欲的に学習に向かわせる授業改善
- ・基礎的知識や技能の根気強い指導による確実な定着
- ・一つ一つの知識や技能を統合して活用する「概念的な理解」の重視
- ・学力調査にも通じる、基礎的・基本的内容の深い理解

○思考力・表現力・判断力を高めるために

- ・知識・技能を用いて考える問題・場面の積極的な設定
- ・日常生活の中で「考えさせる」場面の積極的な取り入れ
- ・多様な発表の機会の設定
- ・特別活動での、主体性や創造性をさらに引き出す取組の工夫

○学びに向かう力・人間性を高めるために

- ・粘り強く学習に取り組む姿勢の育成
- ・主体的な学びの向学心・向上心の育成
- ・自らの学びを認識し調整する力の育成。(何がわかって何が課題か)
- ・目的達成に必要な学び方の指導
- ・日常生活と結び付けた授業の工夫

学校経営方針の具体的方策

◎重点指導目標 「 無言清掃の実践（全員が手順を理解して最小限の言葉で時間まで） 」

○努力事項

1 学習指導の充実・改善

- ・新指導要領の趣旨をしっかりとふまえた授業展開と声かけ（表面参照）
- ・複式授業の研究・充実
- ・新しい評価を意識した日々の授業
- ・ICT機器の有効活用
- ・総合的な学習カリキュラムの見直し
- ・日常的読書習慣のさらなる向上・定着

2 生活指導の充実

- ・基本的生活習慣の定着
- ・TPOを考えた相手意識のあるあいさつや言葉遣いの指導
- ・開始時刻を意識した一人一人の行動
- ・児童の情報を共有した全職員での対応
- ・進んでルールを大切にする意識の向上

3 健康・安全・体力の向上

- ・保健衛生習慣の形成
- ・食に関する指導の継続・充実
- ・全職員でのアレルギー対応
- ・年間を通じた感染症対策
- ・朝ランニングと外遊びの奨励
- ・望ましいメディアとの関わり方の保護者・家庭を巻き込んだ指導

4 道徳・人権・環境教育の推進

- ・特別の教科道徳の実践研究継続
- ・特別支援教育の充実と支援体制づくり
- ・一人一人の内面に寄り添う教育相談
- ・いじめのない居心地のいい教室づくり
- ・栽培活動の推進
- ・清掃活動の充実（静かに考えて作業）
- ・安全安心な学校の環境づくり
- ・働く喜びを知るボランティア活動の充実

5 家庭・地域との連携

- ・家庭学習・家庭読書の定着
- ・地域の人材を活用した体験活動の充実
- ・PTAとの協力（学級PTA（学級懇談会）の充実・活用。参加型への工夫）
- ・地域学習を通じた郷土愛の育成
- ・地域行事への積極的参加

●職員心得 ～不祥事ゼロを前提に～

- ・子どもの可能性を信じ、子どもの将来を見据えて指導にあたりましょう
- ・職員自身の持ち味を児童への指導にいかしましょう
- ・やさしさと厳しさを兼ね備えて、結果を見届ける指導を心がけましょう
- ・互いに尊重し合い、職員の総力を十分に発揮できる学校にしましょう
- ・職員数減の難局をプラス思考で乗り切りましょう